

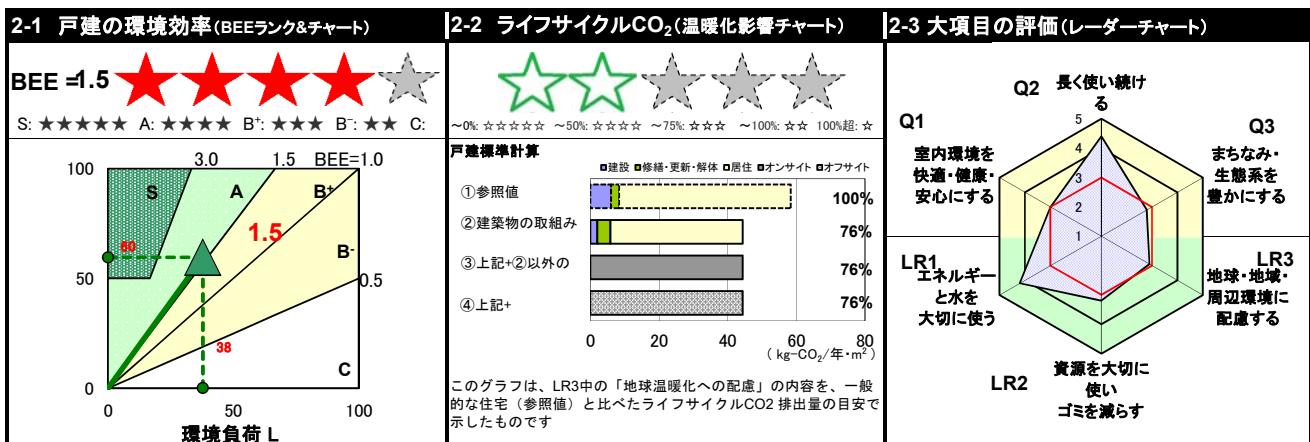
# CASBEE® 横浜[戸建] 評価結果 | 2-105

■使用評価マニュアルCASBEE-戸建(新築)2016年版

■バージョンCASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.4



1-1 建物概要		1-2 外観		
建物名称	個人住宅	仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2021年3月	持ち込み家電等	仮	確定
建設地	横浜市港北区日吉本町3丁目	外構の仕様		
用途地域	第二種中高層住居専用地域	<備考>		
省エネルギー地域区分	6 地域			
構造・構法	鉄骨造			
階数	地上2階			
敷地面積	71 m <sup>2</sup>	評価の実施日	2020年11月13日	
建築面積	47 m <sup>2</sup>	作成者	旭化成ホームズ岡田隆司	
延床面積	79 m <sup>2</sup>	確認日	2020年11月16日	
世帯人数	2	確認者	旭化成ホームズ金子孝則	



3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 本建物は高断熱及び高耐久の性能を実現し、更に長期優良住宅の認定を受けており将来に渡り安心、安全、快適にお住まい頂ける住宅となっております。		
<b>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</b> フォール板をメインに断熱層を形成し断熱等級4を満たしています。内装材に関してはホルムアルデヒドの発散量を抑え、性能表示3となります。適所に換気設備を計画し良好な住環境確保に配慮しております。	<b>Q2 長く使い続ける</b> 本建物は耐久性、耐震性を確保しており日本住宅性能表示基準の耐震等級3、劣化等級3、維持管理等級3を達成しております。自社のアフターサービスの専門部署にて建物の面図、情報一元管理し、定期点検の実施と独自のメンテナンスプログラムにより長く住み続けられる建物としております。	<b>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</b> 3階建てが建ち並ぶエリアですが、本建物は2階建てとして1階北側は道路より約1.8m離して、道路側への圧迫感がない様に配慮しております。角地でオープン外構計画により見通しの良い配置のため防犯上も配慮されております。
<b>LR1 エネルギーと水を大切に使う</b> 高い断熱性能を確保し、エネルギー使用量を削減しています。また、台所・浴室・洗面化粧台の水栓に節湯機能の水栓を設置し省エネに配慮しております。	<b>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</b> 内装下地材や石膏ボードなどを専用工場で建物モジュールに合わせて寸法で作成し、搬送での建材等の搬入を効率化し施工時のゴミ発生を低減しております。また、発生ゴミの分別と廃棄行きゴミ置き場を現場に設置することにより、雨にめらさず発生廃棄物の重量削減に配慮しております。	<b>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</b> 高断熱材を建物に採用することによりCO <sub>2</sub> 排出量レベル5を達成しております。地球温暖化抑制に貢献致します。



#### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 個人住宅

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

5

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

①BEI=0,69

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【健康・安心】

4

■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当)

■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

⑤ホルムアルデヒド対策等級3の取得。

■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防災】

5

■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

⑧劣化等級3の取得

⑨前面2方向道路に加えてオープン外構で見通しの良さ、及び建物配置を北側道路より約1.8m以上離し避難空地を確保。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

2

■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギー・マネジメントシステム以外)

エネルギー・マネジメントシステム導入

# CASBEE® 横浜[戸建] | 評価結果 | 2-105



CASBEE横浜[戸建] (2017年版)  
個人住宅

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.4

スコアシート	重点項目	評価点	重み係数	全体
配慮項目				
Q <sub>H</sub> すまいの環境品質		-	-	3.3
Q <sub>H1</sub> 室内環境を快適・健康・安心にする		-	0.45	3.0
1 暑さ・寒さ		2.7	0.50	2.7
1.1 基本性能		3.4	0.50	-
1 断熱等性能の確保	健康・安心 (4)暑さ・寒さ	4.0	0.80	-
2 日射の調整機能	健康・安心 (4)暑さ・寒さ	1.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ		1.0	0.25	-
1 風を取り込み、熱気を逃がす		1.0	0.50	-
2 適切な冷房計画		1.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ		3.0	0.25	-
1 適切な暖房計画		3.0	1.00	-
2 健康と安全・安心		3.5	0.30	3.5
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心 (5)健康と安全・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心 (5)健康と安全・安心	3.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心 (5)健康と安全・安心	3.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防 災 (7)災害に備える	3.0	0.25	-
3 明るさ		3.0	0.10	3.0
3.1 屋光の利用		3.0	1.00	-
4 静かさ		3.0	0.10	3.0
Q <sub>H2</sub> 長く使い続ける		-	0.30	4.4
1 長寿命に対する基本性能		4.6	0.50	4.6
1.1 車体	防 災 (8)長寿命に対する基本性能	5.0	0.30	-
1.2 外壁材		5.0	0.10	-
1.3 屋根材、陸屋根		4.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防 災 (8)長寿命に対する基本性能	5.0	0.30	-
1.5 火災に備える		3.7	0.20	-
1 火災に耐える構造		3.0	0.65	-
2 火災の早期感知		5.0	0.35	-
2 維持管理		5.0	0.25	5.0
2.1 維持管理のしやすさ		5.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制		5.0	0.35	-
3 機能性		3.5	0.25	3.5
3.1 広さと間取り		5.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応		2.0	0.50	-
Q <sub>H3</sub> まちなみ・生態系を豊かにする		-	0.25	2.8
1 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり (10)まちなみ・景観への配慮	3.0	0.30	3.0
2 生物環境の創出		1.0	0.30	1.0
2.1 敷地内の緑化	地域・まちづくり (11)生物環境の創出	1.0	0.65	-
2.2 生物の生息環境の確保	地域・まちづくり (11)生物環境の創出	1.0	0.35	-
3 地域の安全・安心	防 災 (9)地域の安全・安心	5.0	0.20	5.0
4 地域の資源の活用と住文化の継承		3.0	0.20	3.0
LR <sub>H</sub> すまいの環境負荷低減性		-	-	3.4
LR <sub>H1</sub> エネルギーと水を大切に使う		-	0.35	4.2
1 総合的な省エネ		4.6	0.75	4.6
1.1 車体と設備による省エネ	省エネルギー性能 (1)建物の工夫	5.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能 (2)設備の性能	1.0	0.10	-
2 水の節約		3.0	0.15	3.0
2.1 節水型設備		3.0	0.75	-
2.2 雨水の利用		3.0	0.25	-
3 維持管理と運用の工夫		3.0	0.10	3.0
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能 (3)維持管理と運用	3.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能 (3)維持管理と運用	3.0	0.50	-
LR <sub>H2</sub> 資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.35	3.2
1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用		2.2	0.60	2.2
1.1 構造躯体		3.0	0.30	-
1 木質系住宅		3.0	1.00	-
2 鉄骨系住宅		3.0	-	-
3 コンクリート系住宅		3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎		3.0	0.20	-
1.3 外装材		1.0	0.20	-
1.4 内装材		1.0	0.20	-
1.5 外構材		3.0	0.10	-
2 生産・施工段階における廃棄物削減		4.6	0.30	4.6
2.1 生産段階(構造躯体用部材)		5.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)		4.0	0.33	-
2.3 施工段階		5.0	0.33	-
3 リサイクルの促進		5.0	0.10	5.0
3.1 使用材料の情報提供		5.0	1.00	-
LR <sub>H3</sub> 地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.30	2.9
1 地球温暖化への配慮		3.9	0.33	3.9
2 地域環境への配慮		3.0	0.33	3.0
2.1 地域インフラの負荷抑制		3.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全		3.0	0.50	-
3 周辺環境への配慮		2.0	0.33	2.0
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減		1.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善		3.0	0.50	-